

## 謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。  
本年もよろしく願います。

2019年、平成31年の幕開けである。

2020年のオリンピッククイヤーに向けて、正に助走の一年になることであろう。また、ラグビーW杯で日本が活躍すれば、なお上昇気流が出てくるはずだ。がんばれ、ニッポン。

一方、経済に目を向けると、消費税率の引き上げ直前までの上昇は見込めるが、引き上げ後の反動は予想を上回る落ち込む可能性が高いと感じている。

米国金利の引き上げも手伝って2018年後半は¥110をキープしたが、2019年は株価が更に乱高下しながら右肩下がりとなり、円高傾向になることであろう。米中の貿易競争も一因となって、リセッションの始まりがやって来るように思う。

新年のめでたい時にはあまり相応しくないかもしれないが、2018年の後半、経済界では幾つかの不思議な事件が起こった。証券取引場のCEOが上場ファンドを購入して利益を上げ、挙句、対応策として「保有する金融商品を毎年開示することでチエック機能とする」と平然と言ったのけたり、親会社がIPOした時と同じ事業内容で子会社が史上最大のIPOを果たし、いまだその親会社で60%を保有していたり、日本最大の「公的賭博場」とは言え、もう少し紳士的に振る舞って貰いたいものだ。また、公共ファンドに目を向けると、産業革新機構では「1円でもやめた」と啖呵を切り、辞めれることで全てをご和算に出来る羨ましいオッサンのご尊顔を拝し、経産省では「原子力のベンチャー企業に対して50〜90%の資金援助して育成する」

と高らかに宣言している。

これらの愚策というか稚拙且つ未来の欠片もない事業が、平然とメディアに流れて、そしてすぐさま一般民衆からは忘れ去られ、そしてまかり通って行く日本に、ある種の怖さを覚える。大丈夫か、ニッポン。

そして我がセルドロン。

どうかこうにか新年を迎えている。長岡生コン・宮本社長の残コン用途の広報活動にて明らかに火が付き始めており、都市部を中心に飛躍的に出荷が伸びると考えている。

愛媛ではカネシロ様、東昇商事様の地元密着型の力強い営業活動にて多くの具体的な問い合わせがあり、且つ全国展開の構想もあるやに伺っている。福島では除染事業はまだまだ継続されるであろうが、丸中建設様を中心とした事業展開で新たな可能性を見出してくれている。また、明らかに弊社への直接のお問合せが増えているのが実態。

勿論、「即断即決」とはいかないが、引き合いが多いということは、可能性が多いこと。2019年には大いに期待したい。

経済は右肩下がりトレンドの入り口に立ち、世界政治では大きな動きがある2019年になるであろう。

足元ではセルドロンの販売に注力し、一方で世界を見ながら近い未来のことを想像してスタンバイしていきたい。

娘も4月には2年生になる。

パパはまだまだがんばるのである。

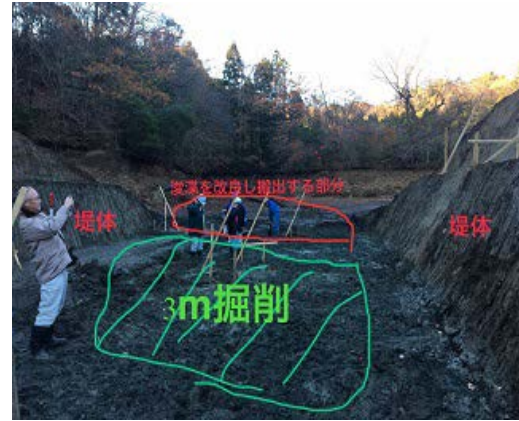
昨年は格別のご贔屓御礼申し上げます。  
本年も変わらぬご愛顧何卒よろしくお願いいたします。

## セルドロン採用報告

### ■農業用施設復旧工事にセルドロンが採用

3月に福島県で発生した豪雨の影響で、ため池の堤防が破損した部分の復旧工事が行われており、現場内の浚渫土を一部改良するためにセルドロンが採用されました。

当初設計では、ため池の水を抜き破損した部分の堤体を壊し、新しく作り直すことになっておりましたが、ため池の底に浚渫土が3mほど堆積しており、堤体を底の部分まで掘削すると、浚渫土が流れ出てしまう状況でした。今回の復旧工事では、浚渫土の撤去は範囲外のため、そのまま堆積させておかなければいけません。そのため、浚渫土が流れないように堤体付近のみセルドロンで改質し、浚渫土の流出を防ぎ、更に、セルドロンで改質した浚渫土は、近隣の畑等に譲渡するようにすすめていく予定です。



## セルドロン用途ご案内

### ■コンクリート圧送車の洗い水処理について

セルドロンを活用いただいている現場(先行モルタル処理用)で、コンクリート圧送車の洗い水をそのまま排出するのではなく、水処理を行い、排水する方法を提案いたしました。

コンクリート圧送車の洗い水は、セメントが付着しているため、強アルカリ(pH12)の濁水となります。

当然、そのまま現場で流すことはできないので、凝集剤でフロックを作り浮遊物を沈殿させ、うわ水は、きれいな透明の水にさせ、pHを中性域に持っていきます。ろ布を通して排水し、沈殿した少量の浮遊物は、セルドロンと混合して廃棄いたします。セルドロンとセットで、凝集剤も提供できますのでお困りな場合は、ご相談ください。



コンクリート圧送車の洗い水配合試験

### 電話番号変更のお知らせ

11月1日より当社の電話番号が下記のとおり変更となっております。ご面倒で恐縮ではございますが、電話番号のお控えなど、ご訂正くださいますようお願い申し上げます。

**新電話番号：03-4405-2642**

旧電話番号:03-6369-8166

※FAX番号(03-6369-3805)と住所の変更はございません。

担当：土井